

平成 27 年度 事業 計画 基本 方針

先の衆議院議員選挙が昨年 12 月に行われて自民党の圧勝で終り、国もデフレ脱却に向け本格的に始動しているが、安定的な景気回復で「アベノミクス」の強力な推進と効果を期待するものである。

国は昨年 6 月に閣議決定した「日本再興戦略」を受けて厚生労働省では平成 27 年度予算要求においてシルバー事業の有効活用し育児支援事業、女性の社会進出、派遣事業の積極推進等、人材不足分野における人材確保等、地域社会の「支え手」としてシルバー事業は今後益々重要な位置づけとなっている。

また、東日本大震災から、4 年が経ち未だ復旧、復興が進んでいない状況で、被災者の生活も今なお不自由を余儀なくされ一日も早い復興が望まれている。

さて、本年度の当センター事業運営は公益目的事業を柱として、真に地域から信頼されるシルバー人材センターを目指して事業に取り組むものとする。本町も毎年 60 歳以上の高齢者割合が増えてきている。このような状況を踏まえ、健康で働く意欲があり社会活動に引き続き参画する事で生きがい作りの充実強化に努める。

今年、団塊の世代が 65 歳を迎え大勢の方々が職場を去る事に伴い、職場で培った知識、技能を再度地域社会の為に生かして頂き、人口減少社会における労働力の担い手として、また、地域社会作りや、コミュニティ再生の担い手として大きな役割が求められている。

このような現状を踏まえて業務の拡大を図る為、会員の増強と就業拡大を役職員一丸となって強力に押し進めるものとする。

一方、公益法人として収支相償を基本に事業運営基盤の強化確立に一層努力し、「公益目的事業の推進」を図り、法令遵守を徹底し、安心と安全適正就業を引き続き推進すると共に就業上のマナーと仕事の質の向上を図る。また、ガバナンスの強化、情報公開、個人情報等にも配慮して事業運営に取り組むものとする。

我々の念願である、「ワークプラザ」の早期建設に向け引き続き町当局、議会を始め関係先の指導のもと継続して推進して行くものとする。

また、シルバー事業の基本理念である「自主・自立、共働・共助」を堅持しながら、高齢者に就業機会を提供し各ボランティア活動を始め、各種活動を通じて地域社会に貢献できるよう事業の推進に努めてゆくものとする。

本事業とは別に、富谷町シルバー友の会が平成 27 年度から発足する運びになった事は今後、会員間の親睦と共助が図られ生きがい作りに貢献できるものと期待している。

第1 事業方針

1. 事業実績、会員拡大の目標数値等

区 分	目 標 値	前 年 対 比
会 員 数	470人	100%
受 注 件 数	1,400件	100%
受注契約金額	220,000千円	102%
(受託事業)	(163,450千円)	(98%)
(独自事業)	(550千円)	(100%)
(労働者派遣事業)	(56,000千円)	(116%)
就 業 延 人 員	43,000人日	100%
就 業 率	90%	100%
粗 入 会 率	3.90%	100%

※ 「前年対比」は前年目標値に対しての数値。

第2 事業計画

1. 雇用によらない就業機会の提供

(1)受託事業

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、公共団体、一般家庭、事務所等からの地域に密着した就業機会の提供を行う。

(2)独自事業

高齢者が独自の創意工夫により、事業を展開する。

ア. 刃物研ぎ、和洋小物作り、書道教室

イ. 新規事業として、絵画教室をすすめる。

2. 雇用による就業機会の提供

(1)有料の職業紹介事業

仕事を希望する一般高齢者及び会員を対象に、有料の職業紹介による就業機会の提供を行う。

(2)一般労働者派遣事業

一般労働者派遣事業の派遣元である連合本部の実施事務所として、会員を対象に一般労働者派遣事業による就業機会の提供を行うほか、安全衛生講習会等も実施する。平成 27 年度より実施される高齢者活用・現役世代雇用サポート事業（仮称）を活用し、派遣事業の推進を図る。

また派遣事業 3 年問題について、適切な対応をとる。

3. 就業に必要な知識及び技能を付与するための講習

(1)講習事業

活力ある地域社会に寄与するため、一般高齢者及び会員を対象に、希望する業務分野の技術を意欲的に習得し、就業の機会につなげていくことを目的に講習を行う。

連合会主催高齢者活躍人材育成事業（仮称）

…一般高齢者及び会員を対象

センター主催

…一般高齢者及び会員を対象に、年間計画に基づく技能講習会を実施する(別紙による)

第 3 事業推進のための活動

(1)就業開拓提供事業

より多くの会員に就業の機会を提供するために、高齢者の知識、技能、経験を把握分析し、法令遵守を念頭におきながら、地域のニーズに対応する仕事の受注を目指すため、以下のことを実施する。

ア. 会員によるチラシの配布

イ. 就業開拓担当の理事・会員による就業機会の開拓（専従者を配置）

（事業所訪問、一般家庭訪問）

(2)普及啓発事業

地域社会にシルバー事業への理解と高齢者の加入促進を図るため、以下のことを実施する。

ア. 普及啓発月間における活動

- イ. 会員によるチラシ配布
- ウ. 会報の発行（年1回全戸配布）
- エ. ホームページの整備と情報公開
- オ. シルバーフェアによるPRの継続実施
- カ. 地域交流事業による地域住民との交流

(3)調査研究

会員の就業率の向上、発注者に対するサービス内容の改善・充実、さらには新たな就業等の活動機会の開拓の方策を研究実施するために行っており、以下のことを実施する。

- ア. 会員への意識調査アンケート
- イ. お客様満足度調査(発注者に対するアンケート調査)

(4)相談事業

一般高齢者及び会員を対象に、以下のことを実施し、就業等に関する情報を提供する。

- ア. 入会説明会 毎月1回
- イ. 就業相談 随時
- ウ. 育児相談 随時

(5)安全・適正就業の推進

品質の向上と確保を図り、事故ゼロ・クレームゼロを目指し、顧客の信頼向上に努める。毎月1日と15日を「安全の日」と定め安全意識の高揚を図り、また各就業現場において危険予知活動を行い、事故を未然に防ぐよう努める。

- ア. 安全・適正就業委員会の実施
- イ. 安全パトロールの実施
- ウ. 安全運転講習会の実施
- エ. 安全就業講習会の実施
- オ. 安全・適正就業推進大会の実施
- カ. 安全便りの発行
- キ. 適正就業の推進(派遣事業の拡大強化)
- ク. 緊急連絡カードの活用

(6)会員増強の促進

第2次中期行動実施計画の目標値をもとに、会員の加入促進を図る。

- ア. 会員によるチラシ配布(会員募集の旨記載)
- イ. 入会説明会の実施(毎月1回)
- ウ. 町広報誌への会員募集の記載
- エ. 特別会員(ゴールド会員)の奨励
- オ. 女性部会「ハナミズキ」の定期的開催による女性会員の拡充

(7)ワークプラザ施設整備の具体的推進

公益社団法人移行に伴い、拠点整備はシルバー人材センターの諸活動を円滑かつ効率的に運営する上で必要不可欠である。この施設が地域の活性化策に貢献できる施設となるよう具体的に推進していく。

- ア. 施設整備調査検討委員会での検討
- イ. 町及び関係先との打合せ・具体的内容の提案

(8)次期「行動実施計画」の策定

平成23年5月に策定した第2次中期「行動実施計画」について、平成27年度をもって満了となるため、平成27年度の見直しと具体的推進を図る一方、次期「行動実施計画」の策定を実施する。

(9)自主防災組織の確立

平成25年3月に富谷町と「災害時における応援協力に関する協定」を締結したことにより、当センターとしても地震等有事に対しての対応を円滑に行えるよう、自主防災組織を確立し、災害備品等の整備、防災訓練等を実施し、富谷町当局と連携して災害等に備えるようにする。

(10)福祉・家事援助サービスの推進

町が推進する子育て事業や、高齢者世帯の増加が進む中、地域住民の福祉ニーズに応えられるよう、福祉家事援助サービスに対応できる会員の加入促進と、現会員のスキルアップを図る。

ア. 育児支援サービス

(ア)子育てサロン「ほっと育^すく」の継続運営

(イ)移動サロンの実施

(ウ)一時預かり

(エ)子育てスキルアップ講習会の実施

イ. 家事援助サービス

- (ア)高齢者への家事援助「ワンコインサービス事業」の充実強化
- (イ)家事援助講習会

(11)社会参加活動の推進

「自主・自立、共働・共助」の精神を高めるためにも、ボランティアや社会参加を通して、地域社会への貢献と連携を深める。

- ア. 子供達の安全・安心を守る巡回活動
- イ. 「富谷町行事」へのボランティア参加
- ウ. 「シルバーの日」の公民館等の清掃作業

(12)事業運営の効率化及び財政健全化の推進

事業運営にあたって、業務の効率的運営を図り、また公益目的基準に適合するよう財政の健全化もあわせて行う。

- ア. 不要支出の洗い出し
- イ. 消費節約の励行
- ウ. 税理士の月次監査による会計指導を実施